

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和 6 年 7 月 31 日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○で囲むこと	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	(一社) アントラーズホームタウンDMO	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	茨城県鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市	
所在地	茨城県鹿嶋市神向寺 23 番地 2	
設立時期	平成 30 年 1 月 30 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	2 人【常勤 2 人（正職員 0 人・出向等 2 人）、非常勤 0 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 代表理事 田口 伸一 （出身組織名） 鹿嶋市長	平成 26 年 4 月から令和 4 年 1 月まで、茨城県議会議員として県政進展に寄与し、令和 4 年 4 月に鹿嶋市長就任、同年 6 月から代表理事を務めている。現在は広い人脈を生かしながら、各般へ当法人の目的遂行に向けての働きかけを精力的に行っている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 事務局長 矢橋 伸一「専従」 （出身組織名） 株鹿島アントラーズ・エフ・シーから 出向	旅行代理店での勤務を経て、2020 年より鹿島アントラーズ・エフ・シーに入社。クラブと地域をつなぐ役割として行政・地域企業・団体・事業者等との連携強化を図るとともに、スポンサー担当業務を行う。2022 年よりアントラーズホームタウン DMO へ出向、前職で培った団体旅行・手配旅行の経験を活かし、企画運営・マーケティング業務に取り組む。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 事務局長 矢橋 伸一「専従」 （出身組織名） 株鹿島アントラーズ・エフ・シーから 出向	同上
各部門（例：プロモーション）	（氏名） 事務局長	同上

の責任者（専門人材） ※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること	矢橋 伸一「専従」 （出身組織名） (株)鹿島アントラーズ・エフ・シーから 出向	
各部門（例：旅行商品の造成・販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 事務局長 矢橋 伸一「専従」 （出身組織名） (株)鹿島アントラーズ・エフ・シーから 出向	同上
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	鹿嶋市商工観光課（観光地域づくり全般） 潮来市産業観光課（観光地域づくり全般） 神栖市観光振興課（観光地域づくり全般） 行方市商工観光課（観光地域づくり全般） 鉾田市商工観光課（観光地域づくり全般） 各市スポーツ振興担当課等（スポーツ団体調整、スポーツ施設整備） 各市歴史・文化財・芸術文化担当課等（史跡等の整備保存、PR） 各市農水産物担当課等（JA との調整、農業研修調整、農水産振興、農水産物 PR） 各市教育委員会（学校交流調整） 茨城県観光物産課（当 DMO への支援、情報提供）	
連携する事業者名及び役割	(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー（合宿及び大会プランニング、サッカー指導者派遣） (株)なめがたしろはとファーム（農業体験等の体験型商品開発、合宿等食事メニュー開発、土産商品開発等） ザ・ロイヤルゴルフクラブ<東京レジャー開発(株)>（インバウンド等誘客、ゴルフパッケージツアー商品等開発） 関彰商事(株)（総務部支援） 域内金融機関（観光事業者等経営支援） エフエムかしま市民放送(株)（情報発信、誘客促進） (株)フューチャーリンクネットワーク（ふるさと納税委託事業者） (株)さとふる（ふるさと納税委託事業者） 鹿島神宮（誘客促進） 各市観光協会（プロモーション、特産品開発・PR、イベント開催） 各市商工会（プロモーション、特産品開発・PR、イベント開催） 各市スポーツ振興団体（スポーツ団体調整、誘客促進） 各市宿泊施設事業者（宿泊受入、誘客促進） 各市飲食関連事業者（飲食提供、食事メニュー開発） 漁業協同組合（水産物 PR・提供） JA（特産品 PR・提供） 茨城県観光物産協会（県 DMO 連携） 茨城県サッカー協会（誘客促進） 交通事業者（二次交通） 常磐システムエンジニアリング(株)（インバウンド農業ツーリズム提携事業者） (株)KX（商品企画・販売・プロモーション）	

官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>【該当する登録要件】 (概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DMO 事務局が招集者となり、DMO 参画の 9 法人担当者と関連事業者によって、不定期で戦略会議を開催している。この定例会は、理事会で承認された年度事業計画を遂行するための、事業規模や効果的实施方法等について協議をしている。また、KPI の設定・評価や PDCA の検証、KPI をはじめとする各種データに基づく戦略策定や次年度の事業計画立案等も行っている。これらを通して官民・産業間・地域間の連携と合意形成が図られている。 ・ この定例会において、各参画組織の DMO 担当者と関連事業者レベルでの上記内容等の意思決定を行い、当法人定款の規定により理事会に執行業務等を上程し、承認を受けて執行する流れとなっている。年度当初の第 1 回理事会には、年度事業計画・収支等を諮り、第 2 回理事会においては、事業進捗や新規の事業提案等を行い承認を受けることとしている。 ・ 理事会の構成は、定款に基づき理事と監事としており、5 市の首長と民間理事 4 人、監事 1 人となっており、当法人の最高意思決定機関となっているとともに、最終的な合意形成の場となっている。
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当法人の HP、5 市の HP や広報誌及び関連事業者による各種イベント開催時に PR 活動を行うとともに、カシマサッカースタジアムでの鹿島アントラーズホームゲーム開催時や各種イベントなどにおいて、啓発活動及び参画促進のための活動を実施している。 ・ エフエムかしまと共同運用している地域情報サイトである「鹿行ナビ」にて地域情報の発信を定期的に行っている。 ・ エフエムかしま、なめがたテレビへの定期的な番組出演による情報発信を実施している。
法人のこれまでの活動実績	<p>【活動の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツツーリズムを核とした観光地域づくり法人として、平成 29 年 11 月 28 日に日本版 DMO 候補法人に登録し、平成 30 年 1 月 30 日に一般社団法人アントラーズホームタウン DMO として登記完了した。 ・ 平成 30 年 4 月に事務局が本格稼働し、日本サッカー協会や茨城県サッカー協会、地域協会及び鹿島アントラーズ FC との連携による海外からのスポーツ合宿の誘致や大会開催のほか宿泊手配等、さらに自走化に向けての収益事業として新電力（名称：DMO でんき）販売の仲介事業も行っている。 また、中国をはじめとする東アジアを中心としたインバウンドスポーツ合宿、教育旅行、農業研修等を拡充するために、現地旅行法人からスポーツ合宿、教育旅行者等の送客を得ている。 さらに、域内の貴重な観光資源となっている北浦（霞ヶ浦）を周回する県内初の 100 km ウルトラマラソン大会を平成 31 年 3 月に開催。参画団体でもある鹿行 5 市を周遊する大会としてツアー等含め実施協力をしている。 令和 6 年 3 月には第 6 回大会を開催予定。 ・ 平成 31 年 4 月に、第 7 回スポーツ振興賞において、「インバウンドスポーツ合宿ビジネス」事業の取り組みに対して、（公社）スポーツ健康産業団体連合会の会長賞を受賞した。 ・ 平成 30 年度、令和元年度の 2 カ年において約 4,850 泊の受入れを行っており、宿泊、飲食、交通事業者等を中心に経済効果を生んでいる。 ・ 令和 2 年には、鹿行地域の空き家率（平成 30 年値）が全国・茨城県の平均値より極めて高いことから、空き家の利活用による交流人口の増加等を目的に空き住宅を借り上げ、民泊施設「Stay Rokko」を 7 月 17 日に開業し、合わせてレンタルサイクル事業を開始した。

- ・地域の土産物商品として、地元酒米を使った日本酒「我は勝つ」の令和元年8月販売、地域限定商品としての「アントラーズホームタウンうまい棒」を同年10月より期間限定で販売した。
- さらに参画団体でもある鹿行5市のゆるキャラをデザインに組み込んだTシャツや地域土産のシンボルを目指すロゴを作成し、ロゴマーク入りの商品を開発、販売している。
- また、銚田市商工会と連携し、「銚田のうまいもん BOX」を令和3年2月に販売、7月には第2弾を販売した。
- 鹿島漁協と連携し、令和3年6月に「2020 おうちで応援セット」を販売、地域産品であるはまぐりをセットにした商品を販売した。
- ・令和4年には、東アジアサッカー連盟(EAFF)が主催する男女ナショナルチームによる国際大会「EAFF E-1 サッカー選手権 2022 決勝大会」をカシマサッカースタジアムにて開催することになり、参加チーム・大会関係者の宿泊・輸送手配を日本サッカー協会(JFA)より受託。

事業	実施概要
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月スタジアムキャンプ 実施 FM かしま出演による情報発信 国際イベントニュース掲載 ・平成31年3月 茨城100k ウルトラマラソン in 鹿行 茨城新聞、読売新聞、毎日新聞掲載 ・令和1年8月 スタジアムキャンプ 実施 FM かしま出演による情報発信 茨城新聞掲載 ・令和1年11月 中国農業研修ツアー 実施 茨城新聞、読売新聞掲載 ・令和2年1月 中国教育旅行 受入 茨城新聞掲載 ・令和2年2月 鹿島アントラーズヘリコプター観戦プラン 朝日新聞、茨城新聞 ・令和2年6月 地域観光メディア「鹿行ナビ」リリース 茨城新聞掲載 ・令和2年7月 民泊 Stay Rokko 運用開始 茨城新聞、読売新聞、毎日新聞掲載 ・令和2年9月 純米原酒「我は勝つ」販売開始 茨城新聞 ・令和2年10月 コロナ禍の取り組み NHK 水戸放送局 ・令和2年10月 アントラーズホームタウンうまい棒販売 日刊スポーツ、スポーツ報知、茨城新聞、TBS ・令和2年10月 ヘリコプター観戦プラン 茨城新聞、TBS ・令和3年2月 銚田のうまいもん BOX 販売 茨城新聞、毎日新聞、朝日新聞 ・令和3年6月 2020 おうちで応援セット販売 茨城新聞、読売新聞 ・令和3年9月 アントラーズ選手なりきり体験ツアー 茨城新聞、読売新聞、毎日新聞 ・令和6年1月 柔道ツーリズムモニターツアー NHK News Web、NHK World

		<ul style="list-style-type: none"> ・その他新聞掲載 平成 30 年 2 月 読売新聞 平成 30 年 4 月 茨城新聞 令和 1 年 8 月 日本経済新聞 令和 2 年 7 月 茨城新聞 令和 3 年 7 月 茨城新聞 令和 3 年 10 月 茨城新聞 ・2 か月に 1 回、なめがたテレビ出演による情報発信 ・情報発信事業 平成 30 年当法人 HP 開設 令和 2 年鹿行 5 市の観光、イベント等を一元的に発信するウェブサイト「鹿行ナビ」開設 各参画団体からの情報により、地域のイベント情報等を毎月アップしている。 	
	受入環境の整備	<p>平成 29 年度 鹿行地区版 DM0 設立準備委員会事業</p> <p>(1)「おもてなし向上研修」 域内の観光関連事業者を対象に、接遇向上、ホスピタリティ精神の醸成、外国人の宗教・文化的習慣等の理解を深めることを目的に実施</p> <p>①地域のおもてなし向上のための接遇研修 (90 名参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス業に関する心構えと接遇対応力の向上 ・インバウンドの現状とターゲットをムスリムにする意義 ・インバウンド対応における先進地事例と外国人対応練習 <p>②インバウンド対応力向上事業 (18 名参加)</p> <p>①に参加した宿泊事業者を対象に、3 宿泊施設において下記の内容にて実地研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムスリムをはじめとする訪日外国人旅行者に求められるおもてなし ・ムスリム対応の食事・生活様式等への対応 ・訪日外国人旅行者からよく尋ねられる質問とその対応練習 <p>「インバウンド対応ガイド育成事業 (5 回講座)」 (23 名参加)</p> <p>増加する訪日外国人観光客に対し、快適なおもてなしを行うために、英語による観光案内に必要なガイド方法を学ぶとともに、SNS 等の発信についても学ぶ機会とした。</p> <p>「合宿メニュー開発」委託事業 新規合宿受入れ及び合宿リピーター増を図ることを目的に、「筋力アップ」、「疲労回復」、「瞬発力向上」、「風邪予防」の目的別メニューと運動後 30 分以内に摂取できる「アスリート向けリカバリーおにぎり」について開発委託し、域内宿泊事業者を対象に調理実習を行った。(15 名参加)</p> <p>令和 2 年民泊事業の開始</p>	

		地域の課題となっている空き家増加から、DMO が鹿嶋市内の空き家を 1 棟借り上げ、改修工事、備品等の設置を完了させ 7 月 17 日に開業（定員 20 名）した。ターゲットとしては、J リーグ観戦者やゴルフプラン及び農業体験パッケージツアー参加者、海水浴客、さらに、テレワークの場としての貸出し等も想定している。合わせて施設利用者用に対するレンタサイクル事業も開始。
	観光資源の磨き上げ	<p>・国内スポーツイベント、大会開催・合宿受入れ</p> <p>平成 30 年 5 月 アントラーズホームタウン DMO カップサッカー大会開催</p> <p>平成 30 年 12 月 福井県丸岡高校サッカー部合宿</p> <p>平成 31 年 3 月 HONDA SOLTILO サッカーチーム合宿</p> <p>令和 1 年 10 月 ANTLERS AUTUMN FESTIVAL U9 大会共催</p> <p>令和 1 年 12 月 ANTLERS WINTER FESTIVAL U10 大会共催</p> <p>令和 1 年 12 月 岡山県岡山学芸館高校サッカー部合宿</p> <p>令和 2 年 2 月 NIKE ANTLERS CUP U15 大会共催</p> <p>令和 2 年 9 月 NIKE ANTLERS CUP U12 大会共催</p> <p>令和 2 年 11 月 NIKE ANTLERS CUP U10/U11 大会共催</p> <p>令和 2 年 12 月 NIKE ANTLERS CUP U9 大会共催</p> <p>令和 2 年 12 月 上州 FC 高崎交流大会開催</p> <p>令和 2 年 12 月 ANTLERS CHALLENGE CUP 共催</p> <p>令和 3 年 4 月 上尾 SC サッカー合宿</p> <p>令和 3 年 5 月 ZOTTO WASEDA フットサル合宿</p> <p>令和 3 年 7 月 アントラーズ交流戦 U14 共催</p> <p>令和 3 年 8 月 Antlers summer festival 共催</p> <p>令和 3 年 8 月 ファルカオ FC サッカー合宿受入れ</p> <p>令和 3 年 8 月 鹿嶋レディースフェスティバル大会開催</p> <p>令和 3 年 9 月 NIKE ANTLERS CUP U12 大会共催</p> <p>令和 3 年 10 月 NIKE ANTLERS CUP U11 大会共催</p> <p>令和 3 年 11 月 NIKE ANTLERS CUP U10 大会共催</p> <p>令和 3 年 12 月 NIKE ANTLERS CUP U9 大会共催</p> <p>令和 3 年 12 月 ANTLERS HOMETOWN CUP 大会開催</p> <p>令和 3 年 12 月 ANTLERS CHALLENGE CUP 共催</p> <p>令和 3 年 12 月 ANTLERS アカデミーFESTIVAL 開催</p> <p>令和 4 年 4 月 ITAKO CUP U-12 大会共催</p> <p>令和 4 年 4 月 ANTLERS HOMETOWN DMO CUP U-10, 11 開催</p> <p>令和 4 年 7 月 ANTLERS OCEAN CUP 大会共催</p> <p>令和 4 年 8 月 ANTLERS SUMMER FESTIVAL 大会共催</p> <p>令和 4 年 8 月 ベガルタ仙台ジュニア サッカー合宿</p> <p>令和 4 年 9 月 NIKE ANTLERS CUP U-12 大会共催</p> <p>令和 4 年 9 月 ANTLERS HOMETOWN CUP (バレーボール) 開催</p> <p>令和 4 年 10 月 NIKE ANTLERS CUP U-11 大会共催</p> <p>令和 4 年 11 月 NIKE ANTLERS CUP U-10 大会共催</p> <p>令和 4 年 11 月 滝川第二高等学校 サッカー合宿</p> <p>令和 4 年 12 月 NIKE ANTLERS CUP U-9 大会共催</p> <p>令和 4 年 12 月 ANT CHALLENGE CUP 大会共催</p> <p>令和 5 年 1 月 NIKE ANTLERS CUP U-15 大会共催</p> <p>令和 5 年 3 月 ANTLERS GRADUATION CUP U-12 大会共催</p> <p>令和 5 年 3 月 ANTLERS JUNIOR CUP U-10, 11 大会共催</p> <p>令和 5 年 3 月 2023IBARAKI 大学フェスティバル大会共催</p>

		<p>・インバウンドスポーツ団体受入れ</p> <p>平成 30 年 6 月 サッカータジキスタン U16 代表合宿 平成 30 年 7 月 サッカースリランカ A 代表合宿 平成 30 年 7 月 中国広州愛奇サッカークラブ合宿 平成 30 年 10 月 サッカー東ティモール A 代表合宿 平成 30 年 11 月 サッカーキルギス A 代表合宿 平成 30 年 12 月 武漢尚文サッカークラブ合宿 平成 31 年 1 月 香港城市大学女子バスケット部合宿 平成 31 年 1 月 ハノイ工科大学サッカー部合宿 令和 1 年 7 月 武漢・青島少年サッカーチーム合宿 令和 1 年 8 月 サッカーチャイニーズタイペイ U18 代表合宿 令和 1 年 8 月 北京少年サッカーチーム合宿 令和 4 年 7 月 EAFF E-1 サッカー選手権参加チーム受入 (韓国、中国、台湾、香港代表) 令和 4 年 10 月 セントラルコーストマリナーズ U-23 強化合宿受入 令和 4 年 12 月 韓国スポーツ少年団強化合宿・国内大会参加受入</p> <p>国内同様に鹿嶋市、神栖市を中心に海外チームのスポーツ合宿の受入れを実施。大会参加のための事前強化合宿として受け入れを行った。 ※令和 2 年から 3 年にかけては新型コロナウイルス感染症の影響によりインバウンド合宿受入れはなし。</p> <p>・農業ツーリズム</p> <p>令和 1 年 11 月 中国企業向け農業研修ツアー 銚田市、行方市にて日本の農業研修として実施</p> <p>・教育旅行受入れ</p> <p>令和 1 年 7 月 中国石門中学校学習旅行 (茨城町立明青中学校との交流) 令和 2 年 1 月 中国西安市小学校修学旅行 (鹿嶋市立鹿島小学校との交流) 令和 2 年 1 月 中国哈爾濱第 69 中学校修学旅行 (鹿嶋市立大野中学校との交流)</p> <p>・企業研修受入れ</p> <p>令和 2 年 11 月 株式会社メルカリ社内 IT オフサイト受入れ 令和 2 年 11 月 株式会社メルペイ exec オフサイト受入れ 令和 2 年 12 月 第 1 回 Antlers Business College 受入れ 令和 3 年 5 月 第 2 回 Antlers Business College 受入れ 令和 3 年 11 月 株式会社メルペイ経営オフサイト受入れ</p> <p>・その他イベント</p> <p>平成 30 年 8 月 第 1 回アントラーズスタジアムキャンプ開催 平成 30 年 8 月 北浦花火観覧ツアー実施 平成 31 年 3 月 茨城 100k ウルトラマラソン宿泊手配 令和 1 年 5 月 茨城国際ユース U16 大会協力</p>	
--	--	---	--

		令和1年5月 ミズノオープン&あやめ観光ツアー実施 令和1年8月 第2回アントラーズスタジアムキャンプ開催 令和3年10月 海のお仕事体験ツアー（小学生向け職業体験）実施 令和3年11月 アントラーズ選手なりきり体験ツアー実施 令和3年12月 アントラーズ選手バスで行くカシマスタジアム満喫ツアー実施 令和3年12月 アントラーズチームバスで行く「鹿島アントラーズアカデミーDNA ミニ勉強会」実施 ・地域土産物商品開発事業 令和2年8月 純米原酒「我は勝つ」販売開始 （地元酒米を使用し、地元蔵元で醸造したDMO限定の日本酒） ※一般酒類小売業免許と通信販売酒類小売業免許を取得 令和2年10月 アントラーズホームタウンうまい棒を期間限定にて販売 令和3年11月 自社ブランドの「ディスカバー鹿行」ロゴを活用したマグカップやエコバッグの販売、鹿行5市のゆるキャラをモチーフにゆるキャラTシャツを作成・販売開始 令和3年11月 地元事業者との連携、地域産品を活用した「アントラーズホームタウンもつ煮」販売開始			
		【定量的な評価】 <令和元年>※主な受入実績			
		合宿等受入れ	期 間	宿泊／グラウンド	泊数 人数
		武漢・青島サッカー少年団	7/5～13	・鹿島セントラルホテル他（神栖市） ・矢田部グラウンド他（神栖市）	8 38
		広州石門実験学校修学旅行	7/16・18～21	・ルートイン鹿島（鹿嶋市） ・鹿島中学校との交流（鹿嶋市）	5 22
		チャイニーズタイペイU18代表	7/24～8/3	・かんぽの宿潮来他（潮来市） ・前川運動公園グラウンド他（潮来市）	10 32
		北京サッカー少年団	10/25～11/5	・三笠山旅館（鹿嶋市） ・アントラーズグラウンド（鹿嶋市）	5 27
		上海農業研修ツアー	11/11～18	・レイクエコー（行方市）他（鹿嶋市） ・JAなめがたしおさい（行方市）他	7 38
		令和元年度実績	インバウンド合宿受入れ	455名	1,723泊
			国内合宿・大会受入れ	36名	36泊
			イベント等	510名	510泊
			宿泊手配	43名	48泊
			合 計	795名	2,317泊

※令和2年1月以降の合宿等受入れは、新型コロナウイルス感染防止のために全て中止又は延期となっている。

＜令和2年度＞※主な受入れ実績

合宿等受入れ	期 間	宿泊／グラウンド	泊数	人数
メルペイ人事オフサイト受入れ	10/9～10	・鹿島セントラルホテル（神栖市） ・鹿島サッカースタジアム（鹿嶋市）	1	7
NIKE ANTLERS CUP U10/U11	11/21～22	・ホテルジャーニーロード（神栖市） ・ホテルジャーニーロードグラウンド（神栖市）	1	125
上州高崎 FC 交流大会受入れ	12/26～28	・ホテルジャーニーロード他（神栖市） ・神栖市民間施設所有グラウンド（神栖市）	2	135
ANTLERS CHALLENGE CUP	12/27～28	・三笠山旅館他（鹿嶋市） ・三笠山旅館所有グラウンド（鹿嶋市）他	1	115
令和2年度実績	インバウンド合宿受入れ		0 名	0 泊
	国内合宿・大会受入れ		680 名	815 泊
	イベント等		13 名	13 泊
	宿泊手配・企業研修		44 名	44 泊
	合 計		737 名	872 泊

＜令和3年度＞※主な受入れ実績

合宿等受入れ	期 間	宿泊／グラウンド	泊数	人数
上尾 SC サッカー合宿	4/3～6	・ホテルがんけ（鹿嶋市） ・ホテルがんけ所有グラウンド（鹿嶋市）	3	22
ZOTTO WASEDA フットサル合宿	5/29～30	・三笠山旅館（鹿嶋市） ・行方市麻生体育館ほか（行方市）	1	28
アントラーズ U14 交流大会	7/31～8/1	・ホテルジャーニーロード ・ホテルジャーニーロード所有グラウンド	1	84
Antlers summer festival	8/9～10	・ホテルジャーニーロード他（神栖市） ・神栖市民間施設所有グラウンド（神栖市）	1	245
ファルカオ FC サッカー合宿受入れ	8/10～11	・ホテルジャーニーロード ・ホテルジャーニーロード所有グラウンド	1	14
鹿嶋レディースフェスティバル	8/27～28	・三笠山旅館他（鹿嶋市） ・ト伝の郷運動公園グラウンド（鹿嶋市）	1	82

	NIKE ANTLERS CUP U12	9/18～20	・ホテルジャーニーロード ・ホテルジャーニーロード 所有グラウンド	2	83	
	NIKE ANTLERS CUP U11	10/9～10	・ホテルジャーニーロード ・ホテルジャーニーロード 所有グラウンド	1	107	
	NIKE ANTLERS CUP U10	11/6～7	・ホテルジャーニーロード ・ホテルジャーニーロード 所有グラウンド	1	77	
	メルペイ経 営オフサイ ト受入れ	11/11～12	・鹿島セントラルホテル ・カシマスタジアム会議室	1	10	
	NIKE ANTLERS CUP U9	11/6～7	・ホテルジャーニーロード ・ホテルジャーニーロード 所有グラウンド	1	367	
	アントラー ズホームタ ウン DMO カ ップ	12/25～27	・鹿嶋市旅館組合所属施設 ・鹿嶋市公共施設グラウンド	2	295	
	ANTLERS CHALLENGE CUP	12/27～28	・鹿嶋市旅館組合所属施設 ・鹿島アントラーズ所有グラ ウンド、鹿嶋市公共施設グラ ウンド	1	191	
	アカデミー フィールド フェスティ バル	12/29～30	・鹿嶋市旅館組合所属施設 ・鹿島アントラーズ所有グラ ウンド、鹿嶋市公共施設グラ ウンド	1	40	
	令和 3 年度 実績	インバウンド合宿受入れ		0 名	0 泊	
		国内合宿・大会受入れ		1,635 名	1,975 泊	
		イベント等		0 名	0 泊	
		宿泊手配・企業研修		10 名	10 泊	
		合 計		1,645 名	1,985 泊	
	<令和 4 年度>※主な受入れ実績					
	合宿等受入 れ	期 間	宿泊／グラウンド		泊数	人数
ANTLERS HOMETOWN DMOCUP U11	4/2～3	・三笠山旅館他（鹿嶋市） ・高松緑地多目的球技場他 （鹿嶋市市）		1	170	
ITAKO CUP U12	4/29～30	・潮来ホテル他（潮来市） ・潮来市前川グラウンド（潮 来市）		1	280	
ANTLERS OCEANS CUP	7/16～17	・三笠山旅館他（鹿嶋市） ・ト伝の郷運動公園球技場 （鹿嶋市）		1	200	
EAFF E-1 選 手権 2022 ※大会関係	7/16～27	・鹿島セントラルホテル（神 栖市） ・カシマサッカースタジアム		11	20	

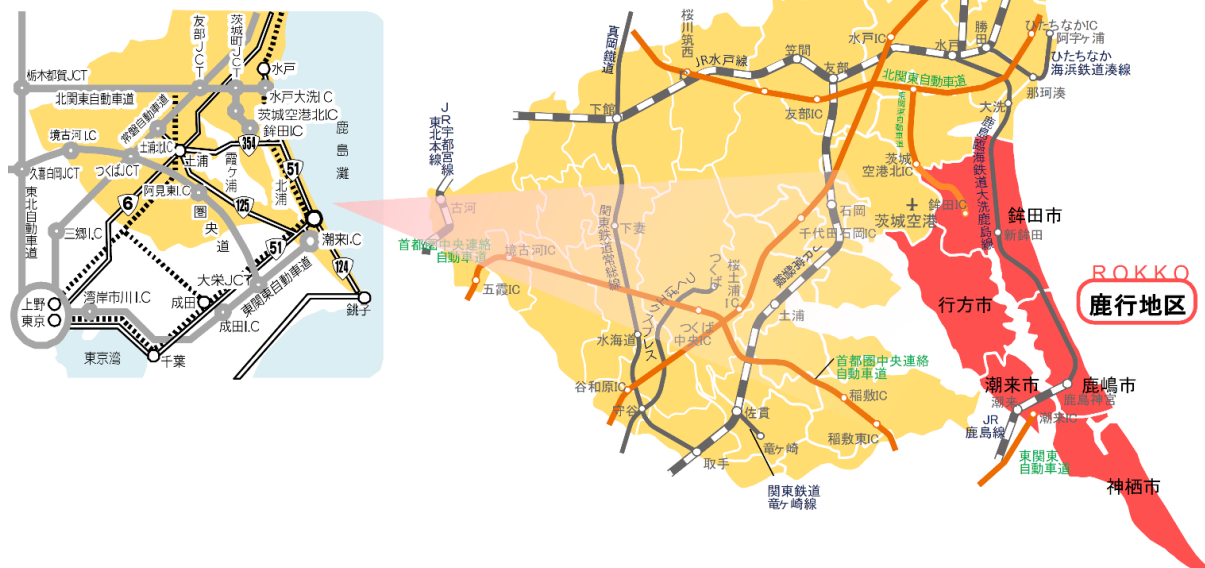
	者		(鹿嶋市)			
	ANTLERS SUMMER FESTIVAL	8/8～9	・三笠山旅館他（鹿嶋市） ・ト伝の郷運動公園球技場（鹿嶋市）	1	192	
	ANTLERS DMO CUP バレーボール大会	9/3～4	・三笠山旅館（鹿嶋市） ・カシマススポーツセンタ（鹿嶋市）	1	131	
	NIKE ANTLERS CUP U11	10/8～10	・ホテルジャーニーロード ・ホテルジャーニーロード 所有グラウンド	2	432	
	セントラルコーストマリナーズ U23	10/29～11/7	・ミンシヨンやまざき他（神栖市） ・高松緑地多目的球技場他（鹿嶋市）	8	30	
	NIKE ANTLERS CUP U10	11/26～27	・ホテルジャーニーロード ・ホテルジャーニーロード 所有グラウンド	1	373	
	NIKE ANTLERS CUP U9	12/17～18	・ホテルジャーニーロード ・ホテルジャーニーロード 所有グラウンド	1	368	
	韓国サッカー一少年団	12/24～28	・ミンシヨンヤマザキ（神栖市） ・ト伝の郷運動公園球技場（鹿嶋市）	4	22	
	ANTLERS CHALLENGE CUP	12/25～27	・三笠山旅館他（鹿嶋市） ・ト伝の郷運動公園球技場（鹿嶋市）	2	268	
	NIKE ANTLERS CUP U15	1/28～29	・ホテルジャーニーロード ・ホテルジャーニーロード 所有グラウンド	1	382	
	ANTLERS GRADUATION CUP U12	3/4～5	・三笠山旅館他（鹿嶋市） ・鹿嶋アントラーズアカデミーフィールド（鹿嶋市）	1	219	
	令和 4 年度実績	インバウンド合宿受入れ		255 名	1,711 泊	
		国内合宿・大会受入れ		4,807 名	6,021 泊	
		イベント等		47 名	54 泊	
		宿泊手配・企業研修		51 名	55 泊	
		合 計		5,160 名	7,841 泊	
	<令和 5 年度>※主な受入れ実績					
	合宿等受入れ	期 間	宿泊／グラウンド	泊数	人数	
	2023 ITAKO CUP U-10	5/6～7	・潮来ホテル他（潮来市） ・潮来市前川グラウンド（潮来市）	1	205	
	2023 NORTE CUP U-11	7/15～16	・丸徳旅館他（ひたちなか市）	1	203	
	WQK-FC	7/11～16	・ホテルジャーニーロード	5	19	

	(中国広州市サッカー少年団)		(神栖市)、三笠山旅館(鹿嶋市) ・鹿島アントラーズアカデミーフィールド(鹿嶋市)		
	WQK-OTM (中国広州市サッカー少年団)	7/22～31	・三笠山旅館(鹿嶋市) ・鹿島アントラーズアカデミーフィールド(鹿嶋市)	9	25
	2023 ITAKO CUP U-12	7/29～7/30	・潮来ホテル他(潮来市) ・潮来市前川グラウンド(潮来市)	1	310
	Hang Sai FC (マカオサッカー少年団)	8/22～8/27	・ホテルジャーニーロード(神栖市)	5	30
	2023 アントラーズスタジアムキャンプ(共催)	8/11～8/12	・カシマサッカースタジアム	1	186
	NIKE ANTLERS CUP U-12	9/16～9/18	・ホテルジャーニーロード(神栖市)	2	554
	2023 ANTLERS FD CUP U-9	9/30～10/1	・ホテルジャーニーロード(神栖市)	1	240
	NIKE ANTLERS CUP U-11	10/7～10/9	・ホテルジャーニーロード(神栖市)	2	532
	NIKE ANTLERS CUP U-10	11/25～11/26	・ホテルジャーニーロード(神栖市)	1	350
	NIKE ANTLERS CUP U-9	12/16～12/17	・ホテルジャーニーロード(神栖市)	1	350
	桃園市サッカー協会(台湾)	1/24～1/29	・三笠山旅館(鹿嶋市) ・鹿島アントラーズアカデミーフィールド(鹿嶋市)	5	31
	令和5年度実績	インバウンド合宿受入れ		105 名	586 泊
		国内合宿・大会受入れ		5,492 名	7,185 泊
		イベント等		209 名	209 泊
		宿泊手配・企業研修		39 名	39 泊
		合 計		5,845 名	8,019 泊

<p>実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。</p>	<p>実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。</p>	<p>【実施体制の概要】 （一社）アントラーズホームタウンDMOは、鹿行5市（鹿嶋市、潮来市、栖市、行方市、銚田市）、（株）鹿島アントラーズ・エフ・シー、（株）なめがたはとファーム、ザ・ロイヤルゴルフクラブ（東京レジャー開発（株））、関彰（株）の9団体で構成している。 上記の9法人には、それぞれにDMO担当者が選任されていることから、事務局とその担当者による戦略会議を不定期で開催しており、会議案件に関係する事業者の参加を要請している。 地域の観光協会、商工会、JA等の関連事業者の連携については、各市町村と連絡調整が容易に行える体制となっており、当法人が主体となつてのスポーツチーム、観光関連事業者、宿泊事業者、飲食業者など多様な関係者と密接な連携による合意形成のスキームは定着している。</p> <p>【実施体制図】</p>
--	--	---

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

茨城県は、大きく5ブロックに大別され、鹿行地域は県東に位置し、5市はいずれも北浦流域に面しており、古くから共通する生活圏と同一の生活文化を有するエリアとなっている。

現在は、5市共にJリーグ鹿島アントラーズFCのホームタウンとなっており、H19.5月には5市によるホームタウン協議会を組織し、5市連携によるサッカーを通したまちづくり活動を展開してきている。

したがって、サッカーを中心とするスポーツツーリズムを軸としての事業展開を図る本DMOにおいては、鹿行5市の区域設定が適切である。

【観光客の実態等】

・令和5年の茨城県観光客動態調査結果では、県全体の入込客（延べ人数）の総数は約6,105万人となっているが、日帰り観光客の割合が約82%となっている。

＜観光入込客数＞

（人）

市 名	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年
鹿嶋市	2,746,100	2,678,300	1,468,900	1,182,600	1,674,400	2,047,800
潮来市	1,827,700	1,730,900	601,500	750,500	974,500	1,143,800
神栖市	765,400	671,100	162,000	141,900	271,200	770,800
行方市	733,900	649,300	348,500	311,100	391,500	478,300
鉾田市	1,069,100	1,121,200	829,900	850,900	1,012,600	951,000
計	7,142,200	6,850,800	3,410,800	3,237,000	4,324,200	5,391,700

（茨城県観光客動態調査）

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

① 観光施設（観光資源）

鹿嶋市—鹿島神宮、鹿島神宮宝物館（直刀：国宝）カシマサッカースタジアム、サッカーミュージアム、鹿島アントラーズクラブハウス、はまなす公園、城山公園、栽培漁業センター、神の道（新日本歩く道100選）、下津・平井海水浴場

潮来市—水郷潮来あやめ園、水郷旧家磯山邸、道の駅いたこ、水郷県民の森、水郷北斎公園、権現山公園

神栖市—港公園、風力発電施設、工場群（夜景）、1000 人画廊、息栖神社、山本家住宅、日川
浜海水浴場、波崎海水浴場、ふれあいセンター湯楽々、ゆ〜ぽ〜とはさき、日川浜
オートキャンプ場、矢田部サッカー場、波崎の大タブ、なさか夕日の郷公園
行方市—霞ヶ浦ふれあいランド、なめがたファーマーズビレッジ、あそう温泉白帆の湯、西
蓮寺、麻生藩家老屋敷、大場家住宅、ゴルフ場
銚田市—鹿島灘海浜公園、無量寿寺、温泉施設（ほっとパーク銚田・とっぷさんて大洋・い
こいの村涸沼）、ゴルフ場、銚田海水浴場

②商業施設（特産品・農水産物販売所）

鹿嶋市—JA 直売所、鹿島っ娘（土曜日営業）
潮来市—道の駅いたこ、北斎公園・蔵（土日開催）、水郷潮来元気市（第 4 日曜開催）
神栖市—かみす農産物直売所、農産物直売所おらが村、WINDS BASE（ウインズベース）、吉
原たまご直売所、じごいもの豚
行方市—なめがたファーマーズビレッジ、観光物産館「こいこい」、農産物直売所「げんきの
里」、なめがた産ちのやさい畑、農産物直売所「やさいの声」
銚田市—サングリーン旭、ファーマーズマーケットなだらう、さんて旬菜館

③自然・アクティビティー

鹿島灘、霞ヶ浦（西浦・北浦）、神之池、砂丘、ブローカート、サーフィン、バス
フィッシング、パラセーリング、サイクリング、ハイキング

④文化・スポーツ・イベント等

鹿嶋市—節分祭・祭頭祭・桜まつり・御田植祭（奉納流鏑馬）・サッカーフェスティバル・花
火大会・神幸祭・古武道奉納演武・鹿嶋まつり・菊花展・駅前イルミネーション・
はまぐり祭・Jリーグ
潮来市—あやめまつり・あじさいまつり・コスモスまつり・潮来祇園祭礼・万燈会・延方相
撲・上戸の獅子舞・トライアスロン・酒造見学・十二橋めぐり・ろ船運行・水郷花
火大会
神栖市—桜まつり・港公園わくわくフェア・大潮祭・きらっせ祭り・かみすぶっちゃげ祭
り・かみすフェスタ・2 輪ビーチレース大会（オフロードバイク）・市長杯波崎サーフィン
大会・はさきさわやかランニング大会・神栖花火大会・菊花展
行方市—行方ふれあいまつり・サンセットフェスタ・新撰組まつり・大地の春祭り・ワカサ
ギ釣り大会・どぶろく祭り・馬出しまつり・帆引き船
銚田市—銚田の夏まつり・花火大会・塔ヶ崎十一面観世音大縁日・メロン狩り・イチゴ狩り・
HOKOTA イルミネーション・波乗り銚田メロンカップ（サーフィン大会）
5 市連携事業—茨城 100K ウルトラマラソン in 鹿行

⑤鹿行の特産品

米、メロン、イチゴ、甘藷、キャベツ、ピーマン、トマト、ゴボウ、みつば、チンゲン菜、
みず菜、レンコン、干しいも、しらす、鹿島タコ、ハマグリ、ヒラメ、ワカサギ、白魚、
鯉、フナ、ウナギ、佃煮、若松、干両、さくら干し、みりん干し、海産物干物

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

市 名	宿泊施設数	収容人数	主な施設名
鹿嶋市	5	730	鹿島ハイツスポーツプラザ、ルート イン鹿島、スーパーホテル鹿嶋
潮来市	15	1,616	潮来ホテル、潮来富士屋ホテル、亀 の井ホテル

神栖市	55	7,319	鹿島セントラルホテル、たびのホテル鹿島、アトンパレスホテル、ホテルジャーニーロード、波崎グリーンホテル、ミンションやまざき
行方市	1	50	北浦湖畔荘
鉾田市	6	420	ホテルニュー麻生、ホテルさわや いこいの村廻沼
計	82	10,135	

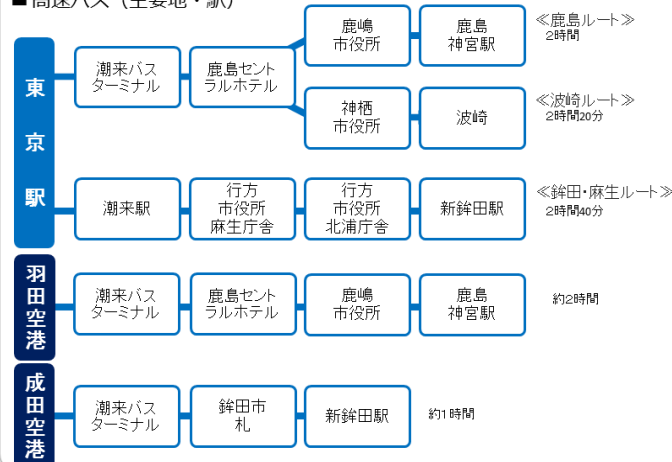
【利便性：区域までの交通、域内交通】

＜区域までの交通＞

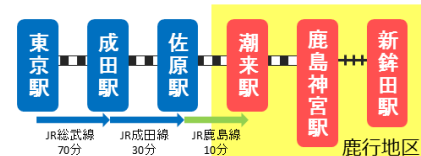
- ・東京駅からの高速バスは、域内5市の全てに路線化されている。
- ・東京駅から JR（鹿嶋市・潮来市）
- ・水戸駅から鹿島臨海鉄道（鹿嶋市・鉾田市）
- ・東関東自動車道（潮来 IC・鉾田 IC）
- ・広域路線バス（潮来～行方～鹿嶋）
- ・鹿嶋コミュニティバス
- ・潮来無料送迎バス
- ・神栖デマンドタクシー
- ・行方ふれあい（デマンド）タクシー
- ・一般路線バス（潮来市・神栖市・行方市・鉾田市）
- ・タクシー

◆ 鹿行地域へのアクセス

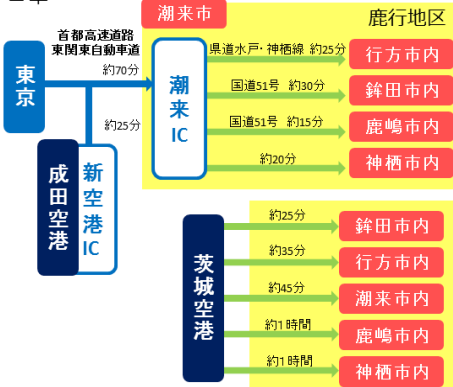
■ 高速バス（主要地・駅）



■ JR・鹿島臨海鉄道



■ 車



【外国人観光客への対応】

- ・「鹿行広域 DMO プロジェクト」において、H28 年度に多言語ガイド育成講座を実施（6 回：30 名受講）し、H29 年度はフォローアップ講座を実施した。
- ・平成 29 年度に、宿泊施設 3 か所において、域内宿泊事業者向けにムスリム対応の食事メニューをはじめとした接遇等の研修を行っている。
- ・各市観光行政担当課へ、観光案内所等での効果的な情報発信ツールの採用及び多言語化や案内標識の外国語標記、公共施設、観光地、宿泊施設等での Wi-Fi 環境等の充実について働きかけを行っており、徐々に整備されてきている。さらに、キャッシュレス決済の普及促進や多様な宗教に対応可能なサービス向上の啓発に取り組んでいく。
- ・訪日修学旅行の対応も含め、農業研修・体験等のできる体制整備を進めている。
- ・各市において多言語観光パンフレットが作成されている。

- ・必要に応じてガイド通訳手配、団体付リエゾン手配、ムスリム等の食事対応を行っている。
- ・今後の新型コロナウイルス対策としてガイドラインを作成、周知を進めていく。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	経済効果を把握する為。(KPI に活用)	茨城県観光客動態調査と自主事業として来訪者調査。
延べ宿泊者数	経済効果及び宿泊者数の実態を把握する為。(KPI に活用)	茨城県観光客動態調査と自主事業として宿泊施設調査。
来訪者満足度	商品造成、各種サービスの評価・改善の参考とする為。(KPI に活用)	茨城県観光客動態調査と自主事業としてアンケート調査。
リピーター率	各種サービスの評価・改善の参考とする為。(KPI に活用)	茨城県観光客動態調査と自主事業として来訪者調査。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	当該法人の HP アクセス数により収集する。
ツーリズム事業受入数	事業の頻度を集計し、取扱量の適性を検討する為。	社内案件管理表により集計する。

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

対象エリアとなる鹿行地域は、鹿島灘と琵琶湖に次ぐ面積を持つ霞ヶ浦に面する水資源に恵まれた地域であり、鹿嶋市、神栖市は鹿島臨海工業地を有し第2次、第3次産業従事者が多く、その他の3市、特に行方市、鉾田市は第1次産業従事者が多く、農業産出額も全国屈指の自治体となっている。

しかしながら、この5市においても人口減少が進んでおり、2015年から30年後の2045年の茨城県による人口推計値では、鹿行地域の減少率は28%強であり、特に行方市は44%強、潮来市と鉾田市においては30%を超える予測から極めて憂慮すべき問題となっていることに加え、高齢化率も、令和2年4月1日現在の茨城県のデータにおいて、全国平均値28.6%に対し、鹿行地域は31.46%と高齢化が進んでいる地域となっている。このため、地域全体として農水産業の後継者不足が顕著となり、耕作放棄地が急増している。

地域の現状から考察すると、日本の生産人口減少や世界的な産業構造の変化など、社会が大きく変異していく中、鹿嶋市、神栖市の第2次産業の規模が縮小していく可能性もあり、鉾田市、行方市においても、全国有数の農業生産地である一方、6次産業化やマーケティングに課題が多い状況にある。そうした背景から、新たな地域産業の核として、現在白地だらけといえる地域観光事業に期待がかかっている。

地域の観光資源としては、鹿島神宮や水郷潮来あやめ園等は一定程度の知名度はあるものの、地域全体としての観光資源は乏しく、これまで観光適地としての評価は決して高い地域とは言えないのが現状となっている。

当法人としては、鹿島アントラーズFCのブランド力をフックとして、地域の強みとなっているサッカーグラウンドの保有面数の優位性を生かしたサッカー合宿の誘致による交流人口の増加、特に成

田・茨城空港から1時間以内のアクセス環境にあるため、アジア圏をターゲットとするインバウンド受入れによる経済効果、さらに国内に誇る農業産出額をもつ農業に焦点を当てたアグリツーリズム、また、鹿島灘や霞ヶ浦（西浦・北浦）などの豊かな自然環境を活用したエコツーリズムを通して地域の活性化を図っていくこととしている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿島アントラーズ FC のホームタウン ・ カシマスタジアム（ミュージアム）が立地 ・ 常陸一之宮の鹿島神宮や東国三社の息栖神社をはじめとする由緒ある寺社 ・ 豊富な農産物と水産物（域内特産の甘藷・レンコン・ピーマン・メロン・ほしいも・みず菜・チンゲン菜は、H27 年品目別産出額全国 1 位） ・ 100面を超えるサッカーグラウンドを保有 ・ 域内 13カ所のゴルフ場 ・ 広域サイクリングロード ・ 海や湖沼など豊かな自然環境（ウォータースポーツ、釣りに好環境） ・ 河岸や水郷の歴史や文化 ・ 降雪量が少なく年間を通して温暖 	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none"> ・ 二次交通網が脆弱 ・ 観光資源に乏しい ・ 宿泊施設が少ない ・ 鹿行の知名度が低い ・ 広域的情報発信力が弱い
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> ・ 成田・茨城空港の活用 ・ 東関東・圏央道の整備促進（現在、域内に 2ヶ所の IC があり、さらに 1ヶ所新設される。） ・ 国内有数のパワースポットとしての東国三社（鹿島神宮、息栖神社）への来訪者増加 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスによるインバウンドの減少及び国内からの合宿来訪者の減少 ・ 成田空港、茨城空港と都市部が近接 ・ 都市部での民泊事業者の増加 ・ スポーツ合宿の競合（菅平・御殿場・J ヴィレッジ等）

※上記に加え、P E S T 分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○第 1 ターゲット層：アジア圏及び関東圏内のサッカーチーム（合宿受入れ）

○選定の理由

FIFA クラブワールドカップ 2016 の準優勝や AFC アジアチャンピオンリーグ 2018 の優勝によって鹿島アントラーズ FC の国際的知名度・認知度は飛躍的に高まっており、特にアジア圏では日本サッカー自体の人気の高い。また、鹿行地域は 100 面を超えるサッカーグラウンドを有し、神栖市（主に波崎地区）には年間に約 30 万人を超える合宿来訪者があり、市場としても今後拡大に傾向にある。そうした背景から、鹿島アントラーズのブランドや海外ネットワークを活用し、アントラーズ OB の指導者派遣やアントラーズ育成カテゴリーとのマッチアップメニューなど付加サービスも充実させ、鹿行地域にアジア圏のスポーツツーリズム誘致を図る。

中国広州市の現地旅行法人と協定し、当法人の中国拠点を設けており、中国での営業プロモーションによる送客を得ている。

○取組方針

FIFA クラブワールドカップ 2016 で準優勝した鹿島アントラーズ FC の国際的知名度・認知度は飛躍的に高まっていることに加え、2020 東京オリンピックのサッカー会場となる茨城県立カシマサッカースタジアムが域内に位置するため、地域の知名度も確実に高まっていることから鹿島アントラーズの海外ネットワーク、さらに日本サッカー協会との連携のもとに、合宿招聘を行うとともに、トレーニング指導者としてアントラーズ OB の派遣やアントラーズ育成カテゴリーとのマッチアップメニューの充実を図る。

また、受け入れ実績のあるチームに対してのリピート合宿についてのプロモーションを行うとともに、広域大会等を主催しながら、満足度調査などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基に、ターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。

○第 2 ターゲット層：東南アジア圏の児童・生徒・学生（教育旅行受入れ）

○選定の理由

中国に農業関連法人を置く日本企業と業務提携しており、令和元年 11 月に中国からの研修旅行受入れ（15 人：5 泊）を行ったが、日本農業の技術力に高い関心を示し、中には当地域に居住し複数年での研修を希望する参加者もいた。

域内では農業後継者の不足、農業従事者の減少から多くの農家において中国人を中心とする外国人研修生（概ね 3 年間）を受け入れているが労働者不足が大きな課題となっている。

当法人の研修旅行受け入れが契機となり、地域の農業従事者に観光に対する理解を深めてもらい地域全体で観光に取り組む下地を作っていく。本事業をフックにグリーンツーリズムを発展させていくことで、耕作放棄地の観光農園としての活用や、お土産商品開発による農業 6 次産業化など、地域農業が抱える課題解決に繋がっていくことが期待されている。

○取組方針

域内特産のサツマイモ・レンコン・ピーマン・メロン・ほしいも・みず菜・チンゲン菜は、H27 年品目別産出額全国 1 位であり、行方市のサツマイモは、「日本農業賞大賞」・「農林水産祭天皇杯」を受賞しており、銚田市のメロンは全国一の産出額を誇っている。

JA、農業生産法人、大手農家等と連携し、多様な研修プログラムを開発しながらプロモーションを充実し、受入拡大を図る。2019 年秋に中国からサツマイモ農家を招いてインバウンド農業研修旅行をテスト検証したところ評判も良かったので、今後もインバウンド農業は注力していく方針である。また、グリーンツーリズム以外にも地域内農業従事者とのリレーションを強化していきながら、地消地産のお土産開発を企画していく。

○第 3 ターゲット層：東南アジア圏の農業関係者（農業研修受入れ）

○選定の理由

令和元年度は、2 件の中国からの教育旅行受入れを行い、令和 2 年 1 月から 3 月にかけても 4 件の受入れが確定していたが、新型コロナウイルスの影響により受入れ中止としている。

現在も、今後の受入れ可否について複数件の問合せがある。国や茨城県がインバウンドを対象とした教育旅行に注力し需要が増え、弊社にも問い合わせが増加していると推測される。このため、主に中国を中心とした東アジアをターゲットとする教育旅行受入れに注力していく。

○取組方針

中国広州市の現地旅行法人と協定し、当法人の中国拠点を設けているため、域内への教育旅行について広くプロモーション活動を展開する。また、すでに実績のあるキャラバントラベルやライフックスなどと連携を取り、現地学校のニーズを組み込んだ交流プログラムを企画する。

地域連携 DM0 の強みを活かし、5 市の教育委員会と連携を取り、受け入れ可能小中学校を増やし、交流プログラムをはじめとした受入れ環境の整備を進める。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	「スポーツの聖地・鹿行(ROKKO)～アントラーズホームタウン～」 鹿島アントラーズ FC ホームタウン 5 市で培ってきた「サッカーのまち」ブランドをブラッシュアップし、スポーツ合宿の聖地としての鹿行(ROKKO) スポーツツーリズムブランドを確立。
②コンセプトの考え方	FIFA クラブワールドカップ 2016 で準優勝した鹿島アントラーズ FC の国際的知名度・認知度は飛躍的に高まっており、この鹿島アントラーズ FC との連携を基に、国内チームはもとより、アジア圏もターゲットとしながらサッカーをメインとする「スポーツ合宿」のメッカとしてのブランド化を図る。 当地域は、純観光地としての資源に乏しいことから、他地域にアドバンテージとなる 100 面を超えるサッカーグラウンドの面数や国内屈指の農業地域の強みを生かしたツーリズム事業を展開し、交流人口の増加による経済効果への派生を目指すこととしている。 合宿来訪者へは、宿泊施設等での地域の豊富な農水産物の提供を通して、地域特産品の購買や 5 市のふるさと納税につなげる取り組みや域内周遊プログラムなども用意しながら満足度向上を図る取り組みを行っている。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<ul style="list-style-type: none"> DMO が招集者となって、法人の構成団体（自治体 5・民間 4）による定例戦略会議を毎月 1 回開催して共有化を図っている。この定例会において、KPI の評価や PDCA についても協議し、戦略策定を行っている。会議には、その都度の協議事項によって該当する関連事業者の参加を要請している。また、合宿受入れ計画や土産物商品開発などを目的に、DMO 事務局と鹿島アントラーズ、5 市の幹事的役割を担う鹿嶋市による週次ミーティング、さらに事務局職員による週次ミーティングも開催しており、担当業務の進捗や課題の共有、振り返りを行いながら、必要に応じて関連事業者との調整に当たっており、日常的に多様な関係者と円滑なコミュニケーションをとりあえる関係性が成り立っている。 年二回（6 月、11 月）開催している理事会は、6 月については、前年度の事業報告や、新年度の事業計画、PDCA の評価結果と改善方針について経営陣のオーソライズを諮っている。11 月については、事業計画の進捗等を報告している。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザー活用や定期的な研修会開催等により、サービス向上に資する体制を構築に務めている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査やマーケティング調査を実施し、PDCA サイクルに基づき結果をフィードバックしながら継続的、効率的に改善・向上を図る仕組みづくりを行っている。 ・当法人構成団体の民間 4 社の持つサービスに関するスキームを参考にしながら、民間の視点によるサービス向上に取り組んでいる。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・当法人 HP、鹿行 5 市の HP 及び広報紙、SNS 等を利用した情報発信とプロモーションを行っている。 ・当法人 WEB サイト「鹿行ナビ」による 5 市の観光、イベント、グルメ等を発信している。 ・「エフエムかしま」による情報発信をしている。 ・鹿島アントラーズ FC の HP 及びサポーター向け情報誌を利用した情報発信とプロモーションを行っている。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

（1）必須K P I

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	※ 括 弧 内
●旅行消費額 (百万円)	目 標	45,600 (460)	45,000 (450)	45,500 (460)	48,000 (480)	50,000 (500)	52,000 (520)	
	実 績	21,775 (21)	28,992 (28)	36,463 (109)				
●延べ宿泊者数 (人)	目 標	900,000 (2,000)	600,000 (2,400)	700,000 (3,500)	800,000 (4,800)	900,000 (6,000)	950,000 (7,000)	
	実 績	347,270 (347)	439,223 (439)	594,814 (1,784)				
●来訪者満足度 (%)	目 標	49.5 (44)	52.5 (52.5)	55.5 (55.5)	58.5 (58.5)	60 (60)	62 (62)	
	実 績	44.0 (欠測)	46.1 (欠測)	47.5 (欠測)				
●リピーター率 (%)	目 標	70.4 (70.4)	73.4 (73.4)	76.4 (76.4)	79.4 (79.4)	80 (80)	82 (82)	
	実 績	73 (欠測)	68.1 (欠測)	68.4 (欠測)				

は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

戦略会議において、5市の総合計画及び観光振興計画、さらにDMO参画の民間事業者の今後の経営戦略、域内民間事業者の観光関連事業計画などを基にしてそれぞれの数値を設定した。

.....

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

令和5年度茨城県観光客動態調査データを基に、鹿行5市への観光客入込み数(3,498,900人)に旅行客の平均消費額推計(10,424円)を乗じて算出した。6年度以降は、過去3年間での観光消費額が25~30%増加していることから、同等率を乗じた数値を目標値として設定。

.....

●延べ宿泊者数

令和5年度茨城県観光客動態調査データを引用。6年度以降は、旅行消費額目標値と同様に、過去3年間の増加率(25~35%)を参考に目標値を設定。

.....

●来訪者満足度

令和5年度茨城県観光客動態調査データ引用。来訪者満足度の目標については、例年3%アップを目標として設定。実施のアンケートでは、「非常に満足」「やや満足」という概ね好意的な反応を受けて

いるが、部門別の評価を見ると評価の差も大きい分野もあるため、全体的な底上げを図ることにより総合的な満足度のアップを目指していく。

●リピーター率

令和5年度茨城県観光客動態調査データ引用。スポーツ合宿での来訪者やJリーグ観戦者のリピーター率は高い一方で、観光を主とした一般来訪客のリピーター率は低い状況にある。鹿島アントラーズの試合観戦客などへ地域の魅力を発信しながら、再訪を促がすとともに、既存観光資源の磨き上げや域内で開催される各種の大規模イベントにおいても再訪へつなげるプロモーションを展開しながらリピーター率の向上を図る。

目標値については、平成26年度から平成30年度の過去5年間の平均値が70.9%であり、平成30年度が68.5%のため、3%増で平均値となることから、毎年3%のアップを数値目標とした。

また、外国人観光客のリピーター率の調査について、調査不十分となっているため、行政と連携して調査の検討をしていくこととする。

(2) その他の目標

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●WEBサイトアクセス数 (PV)	目標	100,000	150,000	100,000	35,000	50,000	70,000
		()	()	()	()	()	()
	実績	99,849	21,935	20,933			
●ツーリズム 事業受入 (件)	目標	21	32	40	45	50	55
		(18)	(28)	(10)	(15)	(20)	(25)
	実績	26	33	35			
		(0)	(3)	(4)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

と。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

自立したDMOを運営していくためには自主財源の獲得が不可欠である。民泊宿泊数、ツーリズム事業受入は民泊稼働率や自主事業の柱であるツーリズムの運営状況を検討、比較していくために必要な数値になると考え目標とした。

【設定にあたっての考え方】

●WEBサイトアクセス数

現在公開しているWEBサイトは、旅行商品を販売したり、BtoCで消費者向けに広く告知を行うという目的の元ではなく、あくまでコーポレートサイトとしての広報機能が主目的のため、地域の中小企業のBtoBサイトの他社事例から、月間1,000~2000PVとした。令和2年以降は新規リリースした地域観光メディア「鹿行ナビ」も注力し、数年で10万PV以上の集客を目指している。

しかし、新型コロナウイルスの影響で募集型企画旅行の実施がなく、民泊施設「Stay Rokko」の一般販売も中止をしていることからPV数が大幅に減少している中、鹿島アントラーズFCのファンサポーター向けの観光体験ツアーを数件販売したが、あまり効果が得られなかった。令和6年度は各自治体・地域企業と連携し、観光体験商品の販売と広報活動を進めていきたい。

●ツーリズム事業受入

令和 2 年度から令和 4 年度にかけては主にスポーツツーリズムを実施。With/after コロナに向けて感染予防対策を講じたスポーツ合宿・大会が再開してきた。2022 年 10 月の水際対策の緩和によりインバウンド案件も数件受注。目標値には達していないが、取扱件数は増えてきているので、インバウンドも含めたスポーツ合宿の受入確保と、鹿島アントラーズの HOME 戦を活用した地域周遊観光を含む試合観戦ツアーの商品造成を引き続き行っていきたい。

.....

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後 3 年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去 3 年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2021（R3） 年度	（円） 89,104,297	（円） ①スポーツツーリズム 45,106,469 ②グリーンツーリズム 0 ③エコツーリズム 0 ④ヘルスツーリズム 0 ⑤自走のための収益事業（受託事業、 新電力販売仲介事業、民泊事業、 ふるさと納税事業、土産物販売他） 22,597,828 ⑥補助金(国 1/2・5 市 1/2) 21,400,000
2022（R4） 年度	（円） 133,597,929	（円） ① スポーツツーリズム 126,453,097 ② グリーンツーリズム 0 ③ エコツーリズム 0 ④ ヘルスツーリズム 0 ⑤ その他事業 7,144,832
2023（R5） 年度	（円） 114,061,175	（円） ① スポーツツーリズム 83,517,079 ② グリーンツーリズム 0 ③ エコツーリズム 0 ④ ヘルスツーリズム 0

		⑤ その他事業	30,543,996
2024 (R6) 年度	(円) 106,420,000	① スポーツツーリズム ② グリーンツーリズム ③ エコツーリズム ④ ヘルスツーリズム ⑤ その他事業	(円) 93,780,000 1,000,000 1,000,000 0 10,640,000
2025 (R7) 年度	(円) 119,500,000	① スポーツツーリズム ② グリーンツーリズム ③ エコツーリズム ④ ヘルスツーリズム ⑤ その他事業	(円) 105,000,000 1,000,000 1,000,000 500,000 12,000,000
2026 (R8) 年度	(円) 125,000,000	① スポーツツーリズム ② グリーンツーリズム ③ エコツーリズム ④ ヘルスツーリズム ⑤ その他事業	(円) 110,000,000 1,000,000 1,000,000 1,000,000 12,000,000

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳(具体的に記入すること)
2021 (R3) 年度	(円) 81,984,225	(円) ①スポーツツーリズム 40,212,297 ②グリーンツーリズム 0 ③エコツーリズム 0 ④ヘルスツーリズム 0 ⑤自走事業 10,569,193 ⑥販売費及び一般管理費 31,202,735
2022 (R4) 年度	(円) 132,377,363	(円) ①スポーツツーリズム 104,633,568 ②グリーンツーリズム 0 ③エコツーリズム 0 ④ヘルスツーリズム 0 ⑤その他事業 7,015,281 ⑥販売費及び一般管理費 20,728,514
2023 (R5) 年度	(円)	(円) ①スポーツツーリズム 91,081,542

	116,968,348	②グリーンツーリズム	0
		③エコツーリズム	0
		④ヘルスツーリズム	0
		⑤その他事業	10,400,813
		⑥販売費及び一般管理費	15,485,993
2024 (R6) 年度	(円) 105,870,000	①スポーツツーリズム	82,728,000
		②グリーンツーリズム	900,000
		③エコツーリズム	900,000
		④ヘルスツーリズム	0
		⑤その他事業	6,992,000
		⑥販売費及び一般管理費	14,350,000
2025 (R7) 年度	(円) 119,000,000	①スポーツツーリズム	90,728,000
		②グリーンツーリズム	900,000
		③エコツーリズム	900,000
		④ヘルスツーリズム	450,000
		⑤その他事業	7,672,000
		⑥販売費及び一般管理費	18,350,000
2026 (R8) 年度	(円) 124,500,000	①スポーツツーリズム	94,728,000
		②グリーンツーリズム	900,000
		③エコツーリズム	900,000
		④ヘルスツーリズム	900,000
		⑤その他事業	8,722,000
		⑥販売費及び一般管理費	18,350,000

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

法人設立当初は、地方創生推進交付金（H30～R3）の活用と鹿行5市からの補助金及び参画団体からの基金拠出による運営を行いながら、スポーツ合宿をはじめとする着地型商品の企画・販売、民泊事業、特産品の物販、新電力の契約仲介等を通して、早期の自走を目指す。

令和4年度以降においては、株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シーを責任企業としてツーリズム事業を中心に事業を推進していく。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

茨城県鹿嶋市・潮来市・神栖市・行方市・鉾田市の5市は、一般社団法人アントラーズホームタウンDMOを地域連携DMOとして登録したいので、一般社団法人アントラーズホームタウンDMOとともに申請いたします。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

重複無し

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	矢橋 伸一
担当部署名（役職）	一般社団法人アントラーズホームタウン DMO（事務局長）
郵便番号	314-0034
所在地	茨城県鹿嶋市神向寺 23 番地 2
電話番号（直通）	0299-77-9500
FAX 番号	0299-77-9501
E-mail	info@antlers-dmo.com

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	茨城県鹿嶋市
担当者氏名	野口 真良
担当部署名（役職）	経済振興部 商工観光課（課長補佐）
郵便番号	314-0012
所在地	茨城県鹿嶋市大字平井 1187 番地 1
電話番号（直通）	0299-82-2911（代表）
FAX 番号	0299-84-1213
E-mail	syokou1@city.ibaraki-kashima.lg.jp

都道府県・市町村名	茨城県潮来市
担当者氏名	高桑 莉青
担当部署名（役職）	環境経済部観光商工課観光商工 G（主事）
郵便番号	311-2421
所在地	茨城県潮来市辻 626 番地
電話番号（直通）	0299-63-1111（代表）
FAX 番号	0299-80-1100
E-mail	kankou@city.itako.lg.jp

都道府県・市町村名	茨城県神栖市
担当者氏名	村田 光
担当部署名（役職）	産業経済部 観光振興課（主事）
郵便番号	314-0121
所在地	茨城県神栖市溝口 4991 番地 5
電話番号（直通）	0299-90-1161（直通）
F A X 番号	0299-90-1211
E - m a i l	kanko@city.kamisu.ibaraki.jp

都道府県・市町村名	茨城県行方市
担当者氏名	大野 崇
担当部署名（役職）	経済部 商工観光課（課長補佐）
郵便番号	311-1704
所在地	茨城県行方市山田 2564 番地 10
電話番号（直通）	0291-35-2111
F A X 番号	0291-35-3258
E - m a i l	name-kanko@city.namegata.lg.jp

都道府県・市町村名	茨城県鉾田市
担当者氏名	菊地 徳人
担当部署名（役職）	産業経済部 商工観光課（係長）
郵便番号	311-1517
所在地	茨城県鉾田市鉾田 1444 番地 1
電話番号（直通）	0291-33-2111（代表）
F A X 番号	0291-32-2128
E - m a i l	shoko@city.hokota.lg.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
茨城県鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

【設立時期】 平成30年1月30日

【設立経緯】
①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設

【代表者】 代表理事 田口伸一(鹿嶋市長)

【マーケティング責任者(CMO)】 矢橋伸一

【財務責任者(CFO)】 矢橋伸一

【職員数】 2人(常勤2人(正職員0人・出向等2人)、非常勤0人)

【主な収入】 ツーリズム事業114百万円 ※令和5年度決算

【総支出】 116百万円(事業費101百万円、販管費15百万円)
※令和5年度決算

【連携する主な事業者】
(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー、(株)なめがたしろはとファーム、ザ・ロイヤルゴルフクラブ<東京レジャー開発(株)>、関彰商事(株)、エフエムかしま市民放送(株)、(株)KX、各JA、漁業協同組合、各市宿泊・飲食事業者等

戦略

【主なターゲット】
①アジア圏及び国内のサッカーチーム
②東南アジア圏の児童・生徒・学生
③東南アジア圏の農業関係者

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
鹿島アントラーズ・エフ・シーの知名度と認知度の高さを生かし、海外ネットワーク、日本サッカー協会等と連携した合宿招聘を行い、OBの派遣や育成カテゴリーとの練習試合等の充実を図る。また中国広州市の代理店と事業協定を締結し、学生・農業関係者を対象とした交流事業を推進していく。

【観光地域づくりのコンセプト】
「スポーツの聖地・鹿行(ROKKO)～アントラーズホームタウン～」

KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年 7月31日

※()内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行消費額 (百万円)	目標	45,600 (460)	45,000 (450)	45,500 (460)	48,000 (480)	50,000 (500)	52,000 ()
	実績	21,775 (21)	28,992 (28)	36,463 (109)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (人)	目標	900,000 (2,000)	600,000 (2,400)	700,000 (3,500)	800,000 (4,800)	900,000 (6,000)	950,000 (7,000)
	実績	347,270 (347)	439,223 (439)	594,814 (1,784)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	49.5 (44)	52.5 (52.5)	55.5 (55.5)	58.5 (58.5)	60 (60)	62 (62)
	実績	44 (—)	46.1 (—)	47.5 (—)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	70.4 (70.4)	73.4 (73.4)	76.4 (76.4)	79.4 (79.4)	80 (80)	82 (82)
	実績	73 (—)	68.1 (—)	68.4 (—)	—	—	—

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・サッカー合宿、大会誘致(国内・海外)
※令和5年度実績:31件
・中国企業向け農業研修ツアー

【受入環境整備】
・空き家を活用した民泊事業

【情報発信・プロモーション】
・地域ラジオ放送局FMかしまと連携した地域情報発信WEBメディア「鹿行ナビ」の開設。
・なめがたテレビ出演による情報発信

